

# 乙女高原ファンクラブ 2010年度 活動報告(ダイジェスト版) 2010.3. ~ 2011.2.

## こんな1年間でした

1. 1年間で19名の入会者があり、現在、総入会者数は612名です。
2. 年間計画に沿った活動を実施し、のべ参加者数は834人でした(2004年度 811人、2005 1200人、2006 1378人、2007 1344人、2008 1253人、2009 1176人)。今年度はロッジが休館となり、夏の自主活動ができなかったため減少しました。
3. 第11回遊歩道作りは予定通り実施。同日にシカ柵の設置作業も行いました。
4. 年3回のマルハナバチ調査を行うのは8年目となりました。1回目は雨天でした。
5. 牧丘第一・第二・第三小、塩山高校、古柏園、山梨ロータリークラブ、山梨日川会、上野原ふるさと自然観察会から活動紹介や高原案内・環境教育の依頼がありました。
6. 案内人活動として7月、8月に「乙女高原を歩こう」を1回ずつ行いました。
7. 案内人活動として8月に遊歩道作りで使う杭づくりを行いました。
8. 第11回目となる草刈りボランティアには207名が参加。
9. 第10回乙女高原フォーラムには90名の参加者があり、「シカ・人・乙女高原の今と未来」をテーマに、麻布大学教授の高槻成紀さんのお話を中心に行いました。
10. フォーラムに関連して市民会館ロビーで『ようこそ乙女高原へ』展 を行いました。
11. 山梨市より「乙女高原保護活動事業」補助金をいただきました(7万円)。
12. 山梨ロータリークラブより寄付金をいただきました(5万円)。
13. 石和サティより「幸せの黄色いレシートキャンペーン」として15,700円をいただき、プリンターのインクに充てました。
14. (株)田丸グリーン基金より7年連続で協力参加費をいただきました(10万円)。
15. 富士ゼロックス端数倶楽部・富士ゼロックス株式会社より寄付金をいただきました(10万円)。
16. 山と溪谷社・日本山岳遺産基金より乙女高原が日本山岳遺産に選ばれました。
17. 計10回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催し、各行事の計画を立てたり、実施後の反省を行ったりしました。連絡会議では山梨県・山梨市の担当者も交え、企画を練ったり、実施後の反省を共有したりしました。
18. 乙女高原グリーンロッジが閉館になり、再開に向けた話し合いをしたり、要望書を出したり、市長・市教育長はじめ担当者と話し合う機会を持つたりしました。
19. 会報「乙女高原が好き！」を年4回発行しました。
20. メールマガジンを年17回、配信し、サイト情報をこまめに更新しました。
21. 2006年に始めた中型ほ乳類(テン)の糞サンプリング調査を継続しました。
22. 2009年に始めた昆虫相調査を継続しました。
23. 2009年に始めたデータロガーによる気温・地温の計測を継続しました。データロガーを収納するミニ百葉箱を設置しました。
24. 遊歩道づくり、草刈りボランティア、フォーラムは県・市との共催事業でした。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思えます。

# 1年間のおもな活動の足跡

3/13 2009年度定期総会



牧丘総合会館を会場に行われました。出席17名。委任状113名で総会成立です。竹越市長が参加。祝辞をいただきました。

3/13 第8回座談会



総会後の第8回座談会は話題提供者を代表世話人の坂田英明さんをお願いし「エベレスト街道トレッキング」をテーマにお話いただきました。

5/9 第11回遊歩道作り



いい天气に恵まれ実行できました。参加者78名。同時進行で新規事業となるシカ柵の設置作業も行いました。

5/9 シカ柵設置



草原内に2箇所、湿地に1箇所、計3箇所にシカ柵を設置。設置後は長期に渡ってモニタリング調査を行っています。夏、シカ柵の中で4年ぶりにミズチドリの開花を確認しました。

6/27 第8期マルハナバチ調べ隊



16名の参加者がありましたが、雨だったのでマルハナバチの紙芝居のみ行い、あとは雨の自然観察会に変更しました。

7/2 牧丘第三小学校の子どもたちを案内



小学校の自然教室講師を乙女高原案内人が受託。牧丘第一小(9/29)、第二小(9/6)の依頼も受諾しました。また、塩山高校や三富小では乙女高原の自然やファンクラブの取り組みを紹介しました。

7/25 乙女高原を歩こう



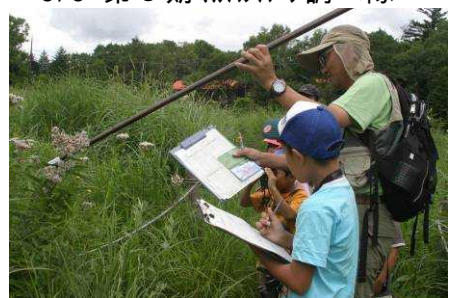
参加者19名。講師を依田昇さんをお願いし、草原の植物やブナじいさんの観察をしました。

8/4, 19 上野原の方々を案内



上野原ふるさと自然観察会の皆さんに乙女高原を案内しました。2日間、それぞれ48人ずつでした。19日は途中で雷雨に見舞われましたが、幸い、ロッジの鍵を借りていたので大事に至ることはありませんでした。

8/8 第8期マルハナバチ調べ隊



参加者16名。マルハナバチ紙芝居から始まるフルバージョンの調べ隊を実施しました。ラインセンサスで計47頭のマルハナバチを確認しました。

8/22 乙女高原を歩こう



参加者 21 名。2 グループに分かれ、それぞれ右回り・左回りコースで乙女高原の自然を楽しみました。

8/22 杭づくり



参加案内人 21 名。遊歩道づくりで使う杭を手作りしました。ヒノキの間伐材をいただき、削ったり切ったりして計 74 本の杭を作りました。

9/12 第 8 期マルハナバチ調べ隊



参加者 5 名。ラインセンサスの結果は計 63 頭で、夏の調査より多いマルハナバチを確認しました。

11/3 日本山岳遺産に認定



甲府市内の会場で行われた第 1 回日本山岳遺産フォーラムにて、他の 3 地域とともに日本山岳遺産に認定されました。

11/23 第 11 回草刈りボランティア



参加者 207 名。子どもたちはブナじいさんの根元に落ち葉の布団をかけるキッズボランティアに参加。植生の再生を目指し、刈り草の一部を崖崩れの起きた箇所へ運びました。

11/23 田丸グリーン基金より



草刈りボランティアの開会式後、田丸グリーン基金より活動協力費をいただきました。いただくのは 7 年連続です。

11/25 市に要望書提出



乙女高原グリーンロッジが閉館されてしまい、対応に追われました。5/24 開館要望書を提出。6/3 市の担当者と面談。そしてこの日、牧丘町内の各区長会長、育成会長・小中学校 PTA 会長と連名で開館要望書を直接、市長・教育長に手渡しました。

1/6 ~ 2/6 乙女高原展



今年で 6 回目となる、山梨市民会館ロビーをお借りした展示です。シカ問題やシカ柵のパネル、シカ柵の実物、シカの頭骨などを展示し、多くの市民に見ていただきました。

2/6 第 10 回乙女高原フォーラム



山梨市民会館ちどりの間にて。参加者 90 名。テーマは「シカ・人・乙女高原の今と未来」。ゲストは麻布大学教授の高槻成紀さん。檜形山・八ヶ岳南麓・三窪高原からの報告も聞きました。

## 乙女高原ファンクラブまで。乙女高原ファンクラブから。

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。
- 1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。
- 2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。
- 2000.10 「乙女高原の森」連絡会議「乙女高原の森の保全および活用に関する提言」を県に提出。
- 2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。

### 2001.4 乙女高原ファンクラブ発足

発足記念映画会 吉永小百合『明日は咲こう花咲こう』

- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新游歩道開設。
- 2001.11 乙女高原ファンクラブ公式ホームページ公開開始。
- 2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方
- 2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）
- 2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）
- 2003.6 イタドリの刈り取り実験用コドラート設置
- 2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）
- 2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲
- 2003.10 土壌観察会（筑波大学土壌環境化学研究室と共催）
- 2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始
- 2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞
- 2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）
- 2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）
- 2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）
- 2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出
- 2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
- 2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）
- 2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート
- 2006.6 山梨県観光物産連盟より感謝状をいただく。
- 2006.9 コカ・コーラ環境教育財団より環境教育賞主催者賞をいただく。
- 2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。
- 2007.3 石和サティの「しあわせの黄色いレシートキャンペーン」に参加。
- 2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイド 『マルハナバチ』を作成。
- 2007.10 乙女高原案内人勉強会スペシャルツアーとして霧ヶ峰のインタープリテーションを体験。
- 2008.4 ブログ「乙女高原フィールドノート」開始
- 2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）
- 2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイド 『お花たち』を改訂増刷
- 2009.6 **新事業**・乙女高原の昆虫相調査スタート
- 2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選
- 2009.11 第10回草刈りを記念し、多大な貢献のあった10団体に感謝状と記念品贈呈
- 2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート
- 2010.5 **新事業**・草原2箇所，湿地1箇所，計3箇所にシカ柵設置。以後，モニタリングを行う。
- 2010.11 乙女高原が山と渓谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。

### 乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3  
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp  
ウェブページ <http://fruits.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号) 00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ